



区分RL1 国家検定合格番号 第TM451号 (型式の名称:DR10R)

取替え式能防じんマスクTMK-10R取扱説明書

2009年12月現在

本品をお買い上げ頂き、ありがとうございました。使用前に必ずこの説明書をよく読み、内容を十分ご理解のうえ、正しくご使用ください。この説明書は、いつでも読めるように大切に保管してください。もし、紛失された場合は、販売店へお申し出ください。

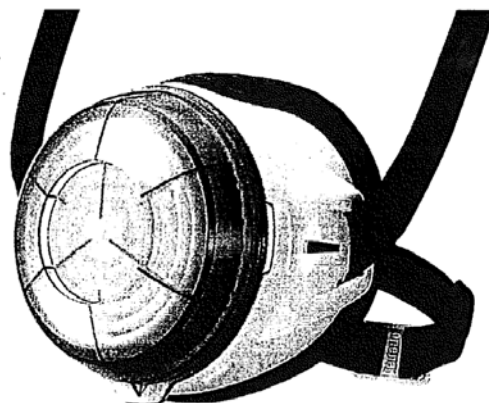
■警告表示の定義

本文中に記載されている「危険」「警告」「注意」の表示は、誤った取扱いによる事故を未然に防ぐための重要な内容を示していますので、熟読し安全にお使いください。各表示の意味は次のとおりです。

危険	取扱いを誤った場合、使用者が死亡又は健康上重大な危害を被る可能性が極めて高いことを示します。
警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡又は健康上重大な危害を被る可能性があることを示します。
注意	取扱いを誤った場合、使用者が健康を害するか又は物的損害が生じる可能性があることを示します。

■使用上の注意事項

本品を安全にお使いいただくために、下記の注意事項をお守りください。誤った取扱いをされた場合、着用者の生命が危険な状態にさらされることがあります。



危険	- 次の条件下では、使用しないでください。 - 酸素濃度が不明又は18%未満の環境。 - 汚染物質が不明な環境。 - 有毒ガスが存在する環境。 - 汚染物質が生命・健康に直ちに危険な環境。 - 本品の用途及び使用の範囲に示す使用区分以外では、使用しないでください。 - 初めて本品を使用される方は、必ず作業責任者の指導を受けてください。
警告	- ホルダーや弁座等の部品が外れたり破損する恐れがありますので、マスクを折り曲げたり、変形させたり、過度な力を加えることはしないでください。 - 分解・改造を行わないでください。 - 純正部品以外は使用しないでください。 - 次の事項に該当する方は、本品の着用をしないでください。 - 面体と顔面との接顔部に入り込むようなひげがある場合。 - 排気弁の作動を妨害する口ひげ又はあごひげがある場合。 - 呼吸器又は循環器系に疾患がある場合。 - 体調が不調な場合。 - その他産業医が不適当と認めた場合。 - 使用前点検を必ず実施してください。 - 面体と顔面との間には、タオル等の気密を妨げるものを使用しないでください。 - 使用中に次のことが生じた場合は、直ちに作業を中止し、安全な場所でマスクを外してください。 - 吸気抵抗が増加し、息苦しくなった場合。 - 粉じんの漏れ込みを感じた場合。 - 部品が破損した場合。 - 体調に不調を感じた場合。 - グラインダー作業等ろ過材の吸気口にスパッタが飛び込むと、ろ過材が燃える恐れがあります。
注意	- 本品の使用により、人によってはアレルギー反応や、また環境中の有害物質や汗のため、発疹、発赤、かゆみ等の症状が現われることがあります。そのような場合には使用を中止し、皮膚科医等へご相談ください。(そのまま使用を続けると症状が悪化することがあります。) 特に、アレルギー体質の方は、発疹、発赤、かゆみ等の症状が現れた場合、直ちに使用を中止してください。 - マスク本体や部品が変形する恐れがありますので、高温や高熱の作業場所では、使用しないでください。 - 接顔カバー又はメリヤスカバー(別売)は、マスク着用時に皮膚にしっしんを起こすおそれなどがある場合に限って使用してください。また、顔面との密着性が良好であることを確認した上で、使用してください。

■用途

本品は、事業場などにおいて発生する粉じんから人体を守るために使用する取替え式防じんマスクです。

■使用の範囲

本品の粒子捕集効率区分はRL1です。
粉じん等の種類及び作業内容に応じた使用区分は下表のとおりですが、**■使用上の注意事項**△危険に示す環境では、使用しないでください。

粉じん等の種類及び作業内容に応じた使用区分

粉じん等の種類及び作業内容	RL1の使用区分	
	オイルミスト等が混在しない場合	オイルミスト等が混在する場合
●安衛則第592条の5 廃棄物の焼却施設に係る作業で、ダイオキシン類の粉じんのばく露のある作業において使用する防じんマスク	×	×
●電離則第38条 放射性物質がこぼれたとき等による汚染のおそれがある区域内の作業又は緊急作業において使用する防じんマスク	×	×
●鉛則第58条、特化則第43条及び粉じん則第27条 金属のヒューム（溶接ヒュームを含む）を発生する作業において使用する防じんマスク	×	×
●鉛則第58条及び特化則第43条 管理濃度が0.1mg/m ³ 以下の物質の粉じんを発生する場所における作業において使用する防じんマスク	×	×
●上記以外の粉じん作業	○	○

※○印：使用可 ×印：使用不可

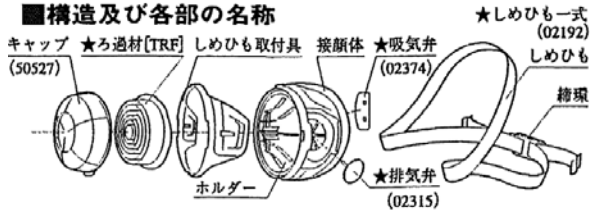
■特長

1. 小型・軽量です。
2. 接顔体には、肌ざわりが良いエラストマーを使用しています。
3. ろ過材は、高性能メカニカルフィルタです。ろ過面積が非常に広いので、吸気抵抗が上がりやすく、長時間使用できます。
4. フィルタケースのないケースレスフィルタを使用した省資源マスクで、経済的です。
5. しめひもの調節が容易です。
6. めがねとの併用も容易です。

■性能

項目	社内基準値	平均値
DOP粒子捕集効率 (%)	82.0 以上	85.5
吸気抵抗 (Pa)	70 以下	58
排気抵抗 (Pa)	60 以下	34
排気弁の作動気密 (秒)	15 以上	99 以上
二酸化炭素濃度上昇値 (%)	0.7 以下	0.6
吸気抵抗上昇値 (Pa)	270 以下	115
重量 (g)	70 以下	68

■構造及び各部の名称



★印の付いている部品は、お客様自身で交換できます。
部品名の下の () 内の3桁の数字は商品コードです。

△ 注意

接顔体及びバックは、ホルダーと一体構造になっていますので、分解することはできません。

■使用前の点検

点検項目	不具合の処置
吸気弁、排気弁、しめひも、接顔体等に、亀裂又は著しい変形等がないか。	新しい部品と交換してください。 接顔体に不具合がある場合は、新しいマスクと交換してください。
吸気弁、排気弁及び弁座に粉じん等が付着していないか。	水等で汚れを落としてください。
吸気弁及び排気弁が弁座に適切に固定されているか。	正しく取り付け直してください。
ろ過材が適切に取り付けられているか。	マスクに適合するろ過材を正しく取り付け直してください。
ろ過材が破損したり、穴などが開いていないか。また、ろ過材から臭いが出ていないか。	新しいろ過材と交換してください。
しめひもは十分に弾力があり伸びきっていないか。	新しいしめひもと交換してください。

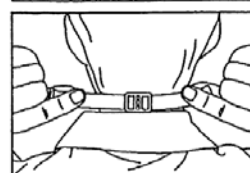
△ 注意

未使用でかつ適正な状態であっても、長期間保管されたものは、吸・排気弁等ゴム部品の劣化等が考えられますので、必ず使用前点検を実施して、不良の部品等を交換するか、使用しないでください。

■装着及び着脱の方法

〈装着（付け方）〉

1. しめひもの締環の付いた部分を首の後ろに掛けてください。
2. 片手でマスクを鼻口部に当て、しめひもを頭部に掛けてください。
3. マスクが顔に密着するように、しめひもの張り具合を調節してください。



△ 注意

しめひもを強くしめすぎないでください。フィットネスが悪くなったり、長時間の作業では不快になりますので注意してください。

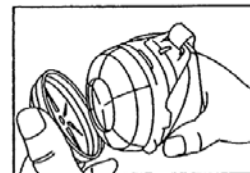
〈着脱（外し方）〉

1. 頭部に掛けてあるしめひもを外してください。
2. 片手でマスクを持ち、首に掛けてあるしめひもを外してください。

■密着性の良否の検査方法

防じんマスク本来の性能を十分に発揮させるためには、密着性が良好でなければなりません。
フィットチェッカー等を用いて、次の手順で着用者自身で密着性の検査を行い、密着性が良好なことを確認したうえで使用してください。

1. フィットチェッカー〔別売〕をキャップにかぶせるように取り付けてください。



2. フィットチェッカーを付けたマスクを作業時と同様に着用してください。



3. マスクを顔面に押しつけないように、フィットチェッカーのゴム管を指でつまんでふさいでください。



4. ゆっくりと息を吸い、接顔体と顔面との接顔部分から空気が流入しないことを確認してください。
もし、流入を感じたら、マスクの着用状態を直し、再び3を実施して空気がマスク内に流入しないことを確認してください。
着用状態を直しても空気の流入を感じるようでしたら、キャップ、排気弁等が確実に付いているかを確認してください。

※フィットチェッカーを使用しない場合

手のひらでろ過材の吸気口をふさいで上記4を行ってください。この時はマスクを顔に押しつけないように軽く当ててください。強く当てると、マスクを変形させ正しい判定ができなくなることがあります。



 警告	1. 使用前に密着性の良否の検査を必ず実施してください。 2. 密着性が良好であることを確認できない場合は、使用を中止してマスクの着用状態を直してください。 密着性が良好であるか確認できない場合は、安全な場所でマスクの各部分を点検してください。〔点検方法〕参照
---	--

■点検方法

点検箇所	点検内容	不具合の処置
接顔体	破損、亀裂、孔あき、裂け、変形等の異常がないか	新しいマスクと交換してください。
排気弁	弁がついているか	新しい弁を付けてください。
	弁がめくれているか	正しく取り付け直してください。
	正しく取り付けられているか	正しく取り付け直してください。
	汚れ、ゴミ等が付着していないか	水等で汚れを落としてください。
	亀裂、破損、変形、粘着等がないか	新しい弁と交換してください。
排気弁座	正常に作動するか	新しい弁と交換してください。
	弾力性は十分か	新しい弁と交換してください。
	汚れ、ゴミ等が付着していないか	水等で汚れを落としてください。
	傷や変形等はないか	新しいマスクと交換してください。
	弁がついているか	新しい弁を付けてください。
吸気弁	弁がめくれているか	正しく取り付け直してください。
	正しく取り付けられているか	正しく取り付け直してください。
	汚れ、ゴミ等が付着していないか	水等で汚れを落としてください。
	亀裂、破損、変形、粘着等がないか	新しい弁と交換してください。
	正常に作動するか	新しい弁と交換してください。
弾力性は十分か	弾力性は十分か	新しい弁と交換してください。
	亀裂、破損、変形等はないか	新しいしめひもと交換してください。
	正しく取り付けられているか	正しく取り付け直してください。
	マスク本体に適合したろ過材が取り付けられているか	適合するろ過材を取り付けてください。
	穴、破損、変形等がないか	新しいろ過材と交換してください。
ろ過材	装着時に息苦しくないか	新しいろ過材と交換してください。
	ろ過材から異臭が出ていないか	新しいろ過材と交換してください。
	汚れ、ゴミ等が付着していないか	汚れ、ゴミ等を落としてください。
	亀裂、破損、変形、粘着等がないか	新しいマスクと交換してください。
	弾力性は十分か	新しいマスクと交換してください。
パッキン		

 注意	1. 不具合の処置を行っても正常に機能しない場合は、マスクを廃棄又は修理を依頼してください。 2. 接顔体及びパッキンは、ホルダーと一体構造になっていますので、分解することはできません。
---	--

■キャップの外し方及び付け方

〈キャップの外し方〉

1. 右図のようにマスクを片手で持ち、しめひも取付具の指掛かりに親指を掛けてください。



2. 反対の手の親指をキャップの指掛かりに掛け、右図の矢印の方向に引き上げてキャップを外してください。



〈キャップの取り付け方〉

1. キャップをホルダーに合わせてください。このとき、キャップをホルダーと平行にして、まっすぐに取り付けるようにしてください。間違った取り付け方をすると、ろ過材がずれて、パッキン面から脱落するおそれがあります。また、キャップの指掛かりがマスクの下方向になるように向きを合わせてください。

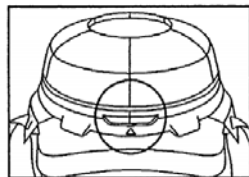


○正しい取り付け方



×間違った取り付け方の例

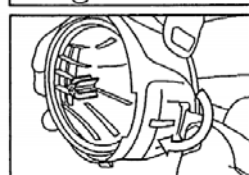
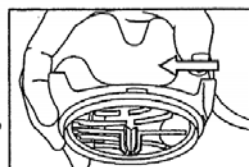
2. カチッと言音が出るまで押し込んでください。



■しめひも取付具の外し方及び付け方

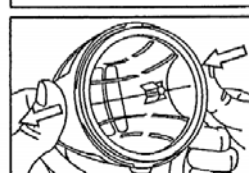
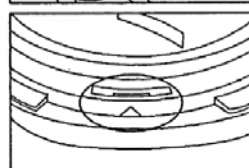
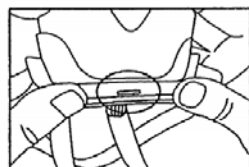
〈外し方〉

1. マスクからキャップ及びろ過材を取り外してください。
2. 右図のようにマスクを持ち、ホルダーの緑の部分の親指でマスクの内側に押し込んでください。
3. 反対の手でしめひもを持ち、右図の矢印の方向に引き上げて、しめひも取付具を外してください。



〈付け方〉

1. マスクの上部にあるしめひも取付具の凹部とホルダーの凸部を合わせてください。
2. マスクの下部にあるしめひも取付具の凸部とホルダーの凹部を合わせてください。
3. しめひも取付具の左右を持ち、しっかりとホルダーに押し込んでください。



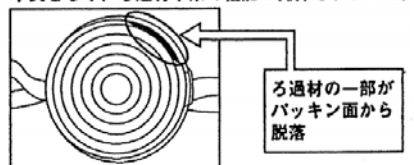
■部品の交換方法

〈ろ過材〉

1. ホルダーからキャップを外し、古いろ過材を取り出してください。
2. 新しいろ過材を取り付けてください。
このとき、ろ過材がパッキン部分に均等に当たるようにしてください。
3. ホルダーにキャップを取り付けてください。

注意

ろ過材がパッキン面から一部分でも離れると気密不良となり、ろ過材本来の性能が発揮されません。



ろ過材の一部がパッキン面から脱落

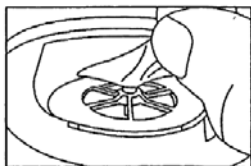
警告

ろ過材を交換する際には、周辺の鈎（つば）部分を持たないようにして下さい。
鈎（つば）の部分が変形して気密不良を起こす恐れがあります。



《排気弁》

1. マスクからキャップ、ろ過材及びしめひも取付具を外してください。
2. 排気弁をつまんで取り外してください。
3. 新しい排気弁の中心の軸を排気弁座の中心の穴に差し込み、しっかりと付けてください。
(このとき、排気弁が正しく取り付けられていることを必ず確認してください。)
4. しめひも取付具、ろ過材及びキャップを取り付けてください。

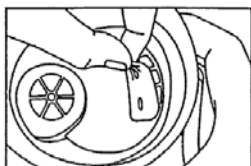


△ 注意

排気弁を交換する時は、排気弁座を傷付けないようにご注意ください。
排気弁座に傷が付くと気密不良の原因となり、マスク本来の性能が著しく低下します。

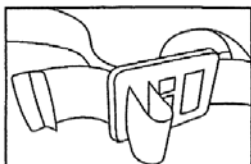
《吸気弁》

1. 吸気弁をつまんで外してください。
2. 新しい吸気弁の中央の穴を吸気弁座の突起に取り付けてください。
(正しく付いていることを必ず確認してください。)



《しめひも》

1. しめひもの締環を外し、しめひも取付具から外してください。
2. 新しいしめひもをねじれないようにしめひも取付具に通し、締環を取り付けてください。



■手入れの方法

《ろ過材》

ろ過材の目づまりにより息苦しさを感じたり、変形、破損等が認められた場合には、新しいものと交換してください。

△ 注意

ろ過材を手入れして再使用する場合は、次の確認が必要です。
新品時より捕集効率が低下していないこと及び、吸気抵抗値が上昇していないこと。

△ 警告

次に示した方法によるろ過材の手入れは、防じんマスクの粒子捕集効率の低下を招くおそれがありますので行わないでください。
1. 付着している粉じんを圧縮空気などで吹き飛ばして除去すること。
2. 強くたたいたり、たたきつけることにより付着した粉じんを除去すること。

△ 注意

本品は水洗いできません。
水洗いすると変形、破損のおそれがあります。

《ろ過材以外の部分》

△ 注意

必ず、ろ過材を外して実施してください。

1. 接顔体、吸気弁、排気弁、排気弁座、しめひもなどに付着した粉じんや汗などの汚れは、乾燥した布又は水で軽く湿らせた布で拭いてください。
2. 汚れの著しい時には、ろ過材を取り外しろ過材以外の部分を、中性洗剤を少量入れたぬるま湯又は水をスポンジ等に含ませて洗ってください。その場合は十分にすすぎをし、陰干しをしてください。
3. マスクを消毒用アルコールでふいた時は、アルコール分が残らないよう十分陰干ししてください。

△ 注意

取り外した部分は、元のとおり正しく取り付けてください。

△ 注意

洗濯機で洗ったり、乾燥機で乾燥させると、マスクが破損する原因になります。

■保管方法

清潔な冷暗所で、乾燥した状態で保管してください。

△ 注意

積み重ねたり、折り曲げて保管すると、亀裂、変形等の異常の原因になります。

■交換の目安

次の項目に該当する場合は、ろ過材又は部品の交換をしてください。

《ろ過材》

1. 収縮、破損もしくは著しい変形等が生じたとき。
2. 著しい吸気抵抗の上昇又は、粉じん捕集効率の低下が認められたとき。

《排気弁、吸気弁》

破損、亀裂、著しい変形又は、粘着性が認められたとき。

《しめひも》

1. 老化により弾力を失い、伸縮不良の状態が認められたとき。
2. 締環に、亀裂、破損等が認められたとき。

■廃棄方法

使用後のろ過材は、粉じんが再飛散しないように、密閉性の高い袋等に入れてから、法規制に従って廃棄してください。

■オプション部品

●フィットチェッカーR15

密着性の良否の検査を行う場合に使用します。
詳細は、密着性の良否の検査方法をご覧ください。

●吸水マットS11

呼吸中の水分や汗などでマスク内に水分がたまる場合に、使用します。
このマットは、汚れたら水洗いし、再使用できます。

●接顔カバーE、メリヤスカバーNRK

汗等により皮膚にしっしんを起こすおそれ等がある場合に使用します。
接顔カバーEは、メリヤスカバーNRKに比べ、漏れ込みが少なくなります。

●マスクグリッパー

マスクをヘルメット（保護帽）に取り付けられ、同時に保護めがねも取り付けられます。

●アルコール除菌スプレー

スプレー式の除菌・消毒用アルコールです。
スプレーした後は数分間放置し、軽く布等で拭きとるだけでOKです。

●携行袋（半面形用）

マスクを収納したり、携行するのに便利です。

●吸気抵抗測定機Rメーター（H225×W190×D380mm）

ホルダーに押しつけるだけで当社製ろ過材の通気抵抗が測定できます。
ケースレスフィルタは、専用カートリッジ（別売）を併用します。

●吸気抵抗判別機フィルタチェッカー（H140×W220×D210mm）

ホルダーに押しつけるだけで当社製ろ過材が交換基準値に達しているかを判別します。通気抵抗は測定できません。
ケースレスフィルタは、専用カートリッジ（別売）を併用します。



この取扱説明書は
地球環境保護のため
再生紙を利用しています。

総発売元

トラスコ中山株式会社

〒550-0013 大阪市西区新町1丁目34番15号

お客様相談室 ☎0120-509-849

E-mail techno.center@trusco.co.jp

製造元



株式
会社

重松製作所